

卒業時コンピテンス一覧表

コンピテンス	コンピテンシー
1 基盤的資質	
和歌山県立医科大学医学部学生は、問題解決型能力、社会人としての教養、語学を身につけている。卒業生は以下の能力を有し、実践できる。	①問題解決型能力を身につけている。
	②情報技術を有し活用できる。
	③外国語を理解し、活用できる。
	④社会人としての一般教養を有している。
2 医師としての基本的資質	
和歌山県立医科大学医学部学生は、卒業時に、患者、患者家族、医療チームのメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するための態度、倫理観を有して行動できる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたって向上を図ることの必要性和方法を理解している。卒業生は以下の事が実践できる。	①医師としての倫理観を有している。
	②チーム医療を理解し、多職種とコミュニケーションが取れる。
	③自己啓発ができる。
3 コミュニケーション能力	
和歌山県立医科大学医学部学生は、卒業時に思いやりのある効果的なコミュニケーションを行い、他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、医療を実践することができる。医学、医療における文章を適切に作成、取扱い、責任ある情報交換と記録を行うことができる。卒業生は以下の事が実践できる。	①良好な人間関係が構築できる。
	②他者への思いやりを有する。
	③他者との情報交換ができる。
4 医学的知識	
和歌山県立医科大学医学部学生は、卒業時に、基礎、臨床、社会医学等の基礎的知識を有し、それらを医療の現場で実践するための、診断、治療、医療経済や法令の知識を理解している。医療の基盤となっている生命科学、行動科学、人口、環境など関連領域の知識と原則を理解している。EBMを理解し、臨床研究を行うための、研究倫理、統計手段を理解している。卒業生は以下の知識を有し、応用できる。	①細胞の構造と機能を理解し、説明できる。
	②人体の構造と機能を理解し、説明できる。
	③人体の発達、成長、加齢、死について理解し、説明できる。
	④疾病の機序と病態について理解し、説明できる。
	⑤検査・画像診断技術についての基本的な知識を有し、読影できる。
	⑥基本的診察方法の知識を有し、実践できる。
	⑦疾病の診断・治療方法についての知識を有し、応用できる。
	⑧EBMを理解し、利用できる。
	⑨生物統計を利用でき、疫学的手法を理解できる。
	⑩医療行動や医療経済についての実践できる基礎知識を有する。
	⑪法令、研究倫理について理解し、実践・活用できる能力を有する。
5 医学の実践	
和歌山県立医科大学医学部学生は、卒業時に患者に対して思いやり敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な医療と健康増進を実施できる。医学とそれに関連する領域の知識を統合して、急性あるいは慢性的頻度の高い健康問題の診断と治療を計画できる。また、終末期医療や介護についての知識を有する。医療安全・感染防御を実践でき、副作用・薬害についての知識を有する。和歌山県の地域医療の現状を理解するとともに、新規医学的知見を発表するプレゼンテーション能力を身につけている。卒業生は以下の知識を有し、実践できる。	①良好な患者医師関係を構築できる。
	②基本的臨床技能を利用し、診察が出来る。
	③臨床推論を適切に行える。検査所見・画像診断について理解し、臨床推論に役立てることができる。
	④原則に従って診療録を作成できる。
	⑤治療方法を選択できる。
	⑥救急医療を理解し、指導のもとに補助できる。
	⑦緩和・終末期・看取りの医療を患者の背景にもとづいて理解し、経験する。
	⑧介護と在宅医療について理解し、実践できる基礎能力を有する。
	⑨患者説明の方法を理解し、患者に分かりやすく説明する基本的な能力を有する。
	⑩医療安全を理解し、実践できる。
	⑪予防医学についての基本的知識を有し、実践できる。
	⑫薬や治療の副作用・薬害についての基本的な知識を有し、実践できる。
	⑬症例や研究のプレゼンテーションができる。
	⑭和歌山県の医療の現状を体験・理解し、説明できる。
	⑮診療報酬の請求制度や保険制度を理解し、説明できる。
6 医学的(科学的)探究	
和歌山県立医科大学医学部学生は、卒業時に基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報の評価、批判的思考、新しい情報を生み出すための倫理的思考と研究計画立案を行うことができる。卒業生は以下の能力を有し、実践できる。	①基礎医学研究を行うための基礎知識を有し、一部、実践できる。
	②臨床医学研究を理解し、成果を活用できる。将来の研究の基礎能力を有している。
	③社会医学研究について理解し、成果を応用できる。将来の研究の基礎を有する。
	④研究成果の公表ができ、論文化する能力を有する。
	⑤研究倫理の知識を有し、実践できる能力を有する。
7 社会貢献	
和歌山県立医科大学医学部学生は、卒業時に、社会貢献の意義を理解し、積極的に参加することができる。卒業生は以下の能力を有し、実践できる。	①地域医療を含む地域貢献を理解し、参加できる能力を有する。
	②福祉活動を理解し、参加できる能力を有する。
	③ボランティア活動の意義を理解し参加した経験を有する。

卒業時コンピテンス	
1 基盤的資質	
問題解決型能力	1-①
情報技術	1-②
語学能力	1-③
社会人としての一般教養	1-④
2 医師としての基本的資質	
倫理観	2-①
チーム医療	2-②
自己啓発	2-③
3 コミュニケーション能力	
人間関係の構築	3-①
他者への思いやり	3-②
情報交換	3-③
4 医学的知識	
細胞の構造と機能	4-①
人体の構造と機能	4-②
人体の発達、成長、加齢、死	4-③
疾病の機序と病態	4-④
検査・画像診断技術	4-⑤
基本的診察知識	4-⑥
疾病の診断・治療方法	4-⑦
EBMの利用	4-⑧
生物統計、疫学	4-⑨
行動科学・医療経済	4-⑩
法令、研究倫理	4-⑪
5 医学の実践	
患者尊厳	5-①
基本的臨床技能	5-②
臨床推論・検査所見・画像診断	5-③
診療録作成	5-④
治療選択	5-⑤
救急医療	5-⑥
緩和・終末期・看取りの医療	5-⑦
介護と在宅医療	5-⑧
患者説明	5-⑨
医療安全・感染予防	5-⑩
予防医学	5-⑪
副作用・薬害	5-⑫
プレゼンテーション技能	5-⑬
和歌山県医療	5-⑭
保健制度	5-⑮
6 医学的(科学的)探究	
基礎医学研究	6-①
臨床医学研究	6-②
社会医学研究	6-③
研究成果の公表	6-④
研究倫理の実践	6-⑤
7 社会貢献	
地域貢献	7-①
福祉活動	7-②
ボランティア活動	7-③

レベル(到達度)	Advanced A	Applied B	Basic C	Basic D	E	F
1. 基盤的資質	高度医療人としての態度、技能を現場で実践できることが単位認定の要件である	高度医療人としての態度、技能を模擬的に示せることが単位認定の要件である	基盤となる態度、技能を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定には関係しない	経験する機会がない
2. 医師としての基本的資質	高度医療人としての態度、技能を現場で実践できることが単位認定の要件である	高度医療人としての態度、技能を模擬的に示せることが単位認定の要件である	基盤となる態度、技能を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	習得する機会はあるが、単位認定には関係しない	経験する機会がない
3. コミュニケーション能力	診療の一部として実践できることが単位認定の要件である	模擬診療を実施できることが単位認定の要件である	基盤となる態度、技能を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定には関係しない	経験する機会がない
4. 医学的知識	実践の場で問題解決に応用できる知識を示せることが単位認定の要件である	模擬的な問題解決に応用できる知識を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識、技能を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定には関係しない	経験する機会がない
5. 医学の実践	診療の一部として実践できることが単位認定の要件である	模擬診療できることが単位認定の要件である	基盤となる知識、技能を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定には関係しない	経験する機会がない
6. 医学的(科学的)探究	実践できることが単位認定の要件である	研究計画の立案、研究の見学、参加が単位認定の要件である	基盤となる知識、技能を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定には関係しない	経験する機会がない
7. 社会貢献	実践できることが単位認定の要件である	模擬的に実践できることが単位認定の要件である	基盤となる知識、技能を示せることが単位認定の要件である	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である	経験する機会はあるが、単位認定には関係しない	経験する機会がない